

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
<p style="text-align: center;">おやつを買いに行こう</p> <p style="text-align: center;">～使えるお金とお菓しの金額の計算～</p>	小	<p style="text-align: center;">グループ学習 高学年アシカ (算数・国語・生活)</p>	
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お菓子を選んで合計の金額を出すことができる。 ・持っているお金とお菓子の値段を比べて、金額内に収まっていることがわかる。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1 あいさつ	・あいさつをしてはじまりを確認する。		
2 これはなん円	・硬貨の絵を見て、何円か答えるクイズをする。	・1円～500円の硬貨のイラスト写真	
3 お菓子を選ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子を紹介と値段の発表を聞く。 ・100円の内収まるだけのお菓子を選んでみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子の写真 ・値段が書かれた紙 	
4 計算をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだお菓子が100円で買えるのか金額を計算する。 ・おつりがいくらになるか計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物プリント (買うお菓子、計算式などを記入して、買い物のときのメモにする) 	
5 まとめ	・今日したことを振り返るとともに、次回の買い物について簡単に説明する。		
6 あいさつ			

<内容（工夫点など）>

繰り上がりの足し算、3つの数の足し算と引き算、100までの数の簡単な足し算と引き算を使って、100円までで買えるお菓子を選んで使う金額とお釣りの計算をしました。

$$13 + 30 + 32 = 43 + 32 = 75 \quad 75 \text{円}$$

$$100 - 75 = 100 - 70 - 5 = 30 - 5 = 25 \quad \text{おつり}$$

というふうに、一つずつできる計算方法を使って、買い物への下準備の計算をしました。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

プリントでさまざまな計算ができるようになり、文章問題にも挑戦できる力がついてきたので、実生活で活用できるように実体験を伴った授業を設定しました。

自分たちのしてきた勉強がどんなふうにも実生活に役立つか知ることができ、それがお菓子を買に行きグループ最後のお楽しみとなったので、1年間の学びの総集となることができました。